

講演会

子どものつらさ/おとなのつらさ 自傷・自殺の現状と予防 ～私たちにできること

6/13
(土)

厚生労働省が警察の自殺統計を基にまとめた2025(令和7)年の全国の自殺者数は、3年連続で減少傾向にあるものの、小中高生の自殺者数は、統計がある1980年以降最多となりました。子どもの自殺の現状と、家庭や青少年の健全育成を支える地域でできることについてお話いただき、考える機会としたいと思います。

講師

独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター
救命救急科 医長 ^{うすき まさと} 臼杵 理人 氏



【プロフィール】

2002年宮崎大学医学部医学科卒業後、九州大学医学部精神病態医学教室に入局。専門はリエゾン・コンサルテーション精神医学。2022年より現職。災害医療センターにおけるリエゾンチーム、緩和ケアチームの立ち上げ、PTSDに関する臨床研究に尽力。厚生労働省精神・障害保健課、立川拘置所医務課長、人事院職場復帰相談医を歴任。一般社団法人日本うつ病センター上席研究員。医学博士。

時間

14:00～16:00 (13:30 開場)

会場

たましんRISURUホール 小ホール

申込み

不要・入場無料

問合せ先

立川市青少年問題協議会事務局(子ども家庭部子ども育成課内)
立川市錦町3-2-26 ☎042-523-2111(内線1306・1302)

